

環境調査結果のお知らせ

令和6年6月10日11時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

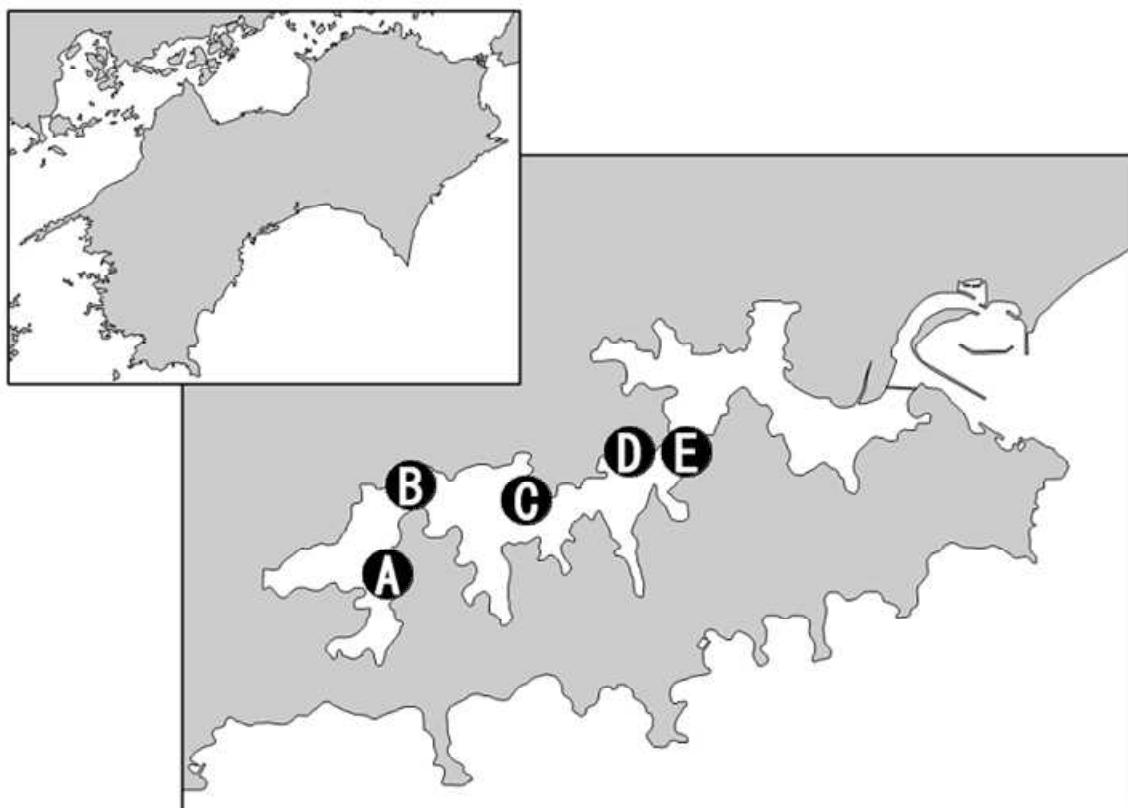
概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で1,000 cells/mL、ディクチオカ属が最高で201 cells/mL、ケラチウム属が最高で19 cells/mL確認されました。シャットネラ属は漁業被害が想定される密度を超えているので、十分注意してください。また、麻痺性貝毒原因種であるアレキサンドリウム属が最高で27 cells/mL確認されました。アレキサンドリウム属は、貝類（食用を含む）を毒化させる恐れがあるので、十分注意してください。

全定点の底層並びに中学校前の10 m層及び底層が貧酸素状態となっています。

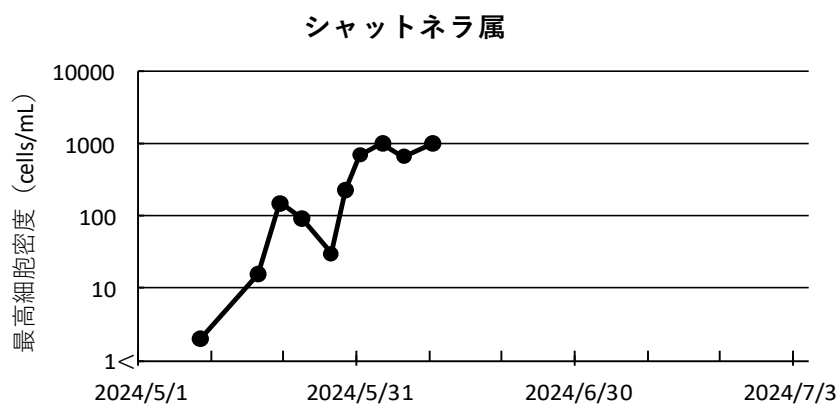
海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度 (m)	水温 (°C)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	シャットネラ 属	ディクチオカ 属	ケラチウム 属	アレキサンドリウム 属
A 鳴無 (2.5m) 【11:13】	0	23.3	15.5	8.3	11	0	3	0
	2	23.9	28.4	8.0	274	85	0	0
	5	22.7	30.3	5.4	1,000	86	0	0
	底層 8.5	21.9	30.6	0.2	440	29	0	0
B 中学校前 (1.5m) 【11:24】	0	23.2	13.7	8.6	28	0	11	0
	1	-	-	-	191	0	19	0
	2	23.5	27.1	11.4	770	0	6	0
	5	23.1	30.1	6.3	64	113	2	0
	10	22.1	30.7	1.0	75	35	0	0
底層 11.5	21.8	30.8	0.6	15	0	0	0	
C 目ノクソ (1.8m) 【11:37】	0	22.8	14.6	8.5	4	0	0	0
	1	-	-	-	34	0	5	0
	2	23.4	27.2	10.2	610	5	1	11
	5	23.1	30.3	6.4	12	201	1	11
	10	22.8	30.9	4.2	16	3	0	0
底層 14	22.1	31.0	1.7	4	2	0	0	
D 光松 (2m) 【11:51】	0	22.9	17.3	8.3	0	0	6	0
	1.5	-	-	-	35	0	4	0
	2	23.3	27.4	14.5	310	12	0	0
	5	23.1	30.1	6.7	111	76	6	27
	10	22.8	31.0	4.4	0	2	0	0
底層 16	22.2	31.3	1.3	0	0	0	0	
E 大鹿 (2.2m) 【12:04】	0	22.9	16.4	8.3	0	0	1	0
	1	-	-	-	0	0	5	0
	2	23.2	28.1	10.5	56	57	12	9
	5	23.1	30.3	6.4	5	31	7	0
	10	22.8	31.0	4.4	0	2	0	0
底層 16	22.2	31.3	1.4	0	0	1	0	



- A: 鳴無
- B: 中学校前
- C: 目ノクソ
- D: 光松
- E: 大鹿

令和6年度 浦ノ内湾におけるシャットネラ属の最高細胞密度の推移



参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。